

わが国におけるワーケーションの運用実態と実施方策に関する研究
 — (その3) 新聞情報にみるワーケーション3要件からみた施設・空間の特徴—

A Study on the Actual Operation and Implementation Measures of “Workation” in Japan

- (Part3) About the characteristics of facilities seen from three requirements for “Workation” focusing on newspaper information -

○豊田峻介¹, 岡田智秀², 田中絵里子³, 三浦靖貴¹

* Ryosuke Toyoda¹, Tomohide Okada², Eriko Tanaka³, Yasutaka Miura¹

Abstract: The purpose of this study is to clarify the actual operation and implementation measures of “Workation” in Japan. As a result, it clarified the characteristics of the facilities and spaces used in the “Workation” cases through newspaper articles from view of the three requirements ; “leisure function”, “work function” and “accommodation function”.

1. 研究目的 ; 本研究は「ワーケーション」の実施上の留意点を導くことをねらいとして、前稿^{1)・2)}では新聞記事を対象とした「新型コロナウイルス感染症」流行前、流行時の「ワーケーション」関連記事についての年代別傾向や掲載記事の特徴について把握した。

そこで本稿では、上述の実施上の留意点を導くため、わが国における「ワーケーション」関連記事に着目し、「ワーケーション」展開事例において整備・活用されている施設や空間の特徴について明らかにする。

2. 調査概要 ; 本稿では前稿と同様に表1に示す調査を実施した。その結果、本文に「ワーケーション」の語彙が含まれる記事として、朝日新聞 371 件、読売新聞 528 件を得たが、本文の情報量にばらつきがみられたことから、それらの内から見出し(記事のタイトル)に「ワーケーション」の語彙が含まれる朝日新聞 68 件と読売新聞 108 件を抽出した。このうち構想ではなく実際に展開されている事例の記事として、朝日新聞 34 件と読売新聞 49 件の計 83 件を抽出した。そこで以降では、この 83 件の事例記事を対象に論考する。

3. 結果および考察 ; 「ワーケーション」について言及した論文^{5)~7)} や省庁 WEB サイト⁸⁾ によると、「ワーケーション」とは、「ワーク(仕事)」と「バケーション(比較的長い期間の休暇)」を合わせた造語とされ、「休暇先など職場と異なる場所で滞在しながら仕事と余暇

を展開する」と解せられる。これより「ワーケーション」は、「余暇機能」「ワーク機能」「宿泊機能」の3つが要件になると考えられる。そこで、これら3要件ごとに対象 83 件の記事を「ワーケーション」の行為や場・空間の特徴を示したものが表2~4, 図1である。

(1) 余暇関連記事の特徴 ; 表2より、《余暇関連項目》において、最も多いのは〈温泉〉の15件であった。続いて、自然散策(11件)、ウォータースポーツ(9件)、食事(9件)がみられ、これらは余暇に自然環境や食を満喫するものであることがわかる。次に多いフィットネス(7件)は、仕事の合間に短時間で行われる息抜きとして取り入れられていると考えられる。さらに、手作り体験(6件)と産業体験(6件)は、地域の特産に関わる体験であり、余暇にその土地ならではの付加価値を取り入れた取り組みといえよう。

次に、余暇の実施場所を分類した図1をみると、山が38件と最も多いことがわかる。これは余暇において自然環境を満喫する際の好条件を備えた場所であるためと考えられる。次いで多いのが市街地(25件)である。市街地ではフィットネス施設や地域観光(まち歩き)を楽しむなど、余暇利用施設が集積しており、利用者に多様な選択肢が提供できるためと考えられる。

(2) ワーク関連記事の特徴 ; 表3より、《ワーク関連項目》に着目すると、最も多いのは〈オフィス、コワーキングスペース〉が37件と過半を占めていることがわかる。このことから、ワーク機能は仕事環境を空間的に独立させ、仕事に集中できる配慮が重要になると示唆される。次に多い〈ホテル、旅館〉(19件)は、自室内にワーク環境を整備したものもある。これに対して次に多い〈ゲストハウス〉(7件)は、1つの施設内で宿泊とワーク環境を分離した形態である。

図1のワーク機能の実施場所をみると、屋内で仕事

表1 調査概要 [筆者作成]

項目	概要
調査期間	2022年7月20日(水)~2022年9月19日(月)
対象	朝日新聞社の記事データベース「朝日新聞クロスサーチ」 ³⁾ 、読売新聞社の記事データベース「ヨミダス歴史館」 ⁴⁾ の掲載記事において、見出しに「ワーケーション」の語彙が含まれる全176件(朝日新聞68件、読売新聞108件)を抽出し、そのうち実施中の「ワーケーション」事例記事83件を分析対象。
検索対象期間	2017年2月15日(水)~2022年5月31日(火)発行分
調査内容	1) 実施中の「ワーケーション」関連記事の特徴把握。 2) 上記83件の記事から抽出した「ワーケーション」事例を対象として、ワーケーション3要件の特徴把握。

1 : 日大理工・学部・まち 2 : 日大理工・教員・まち 3 : 日大文理・教員

を行うものが大部分であるものの、中には、屋外の動物園やゴンドラなどにおいてワークを行うというユニークな取り組みが4件みられた。

(3) 宿泊関連記事の特徴; 表4より、《宿泊関連項目》に着目すると、最も多いのは、〈ホテル、旅館〉の19件であった。これは、宿泊業者が「ワーケーション」に参画している実態を反映していよう。次に多い〈ゲストハウス〉(6件)は、宿泊施設内で他の利用者との接触を避けるための配慮であり、ワーク環境のサービス向上に努めている様子が見える。対して〈研修施設、

表2 記事にみられた余暇関連項目と内容 [筆者作成]

余暇関連項目	内容	記載数
温泉	温泉(2), 温泉巡り, 五右衛門風呂, サウナ(各1)	15
自然散策	自然散策(7), 山歩き(4)	11
ウォータースポーツ	川遊び(5), 海遊び(2), 湖遊び(2)	9
食事	食事(4), BBQ(4), 焼肉(1)	9
フィットネス	フィットネス(4), ジョギング, 水泳, テニス(各1)	7
手作り体験	蕎麦打ち体験, ソーセージ作り, デニムづくり, 花火作り体験, 和紙すき, 陶芸体験(各1)	6
産業体験	農業体験(3), 漁業体験(2), 酪農体験(1)	6
ウィンタースポーツ	スキー(2), かんじきハイク, そり遊び, カーリング(各1)	5
地域観光	地域観光(5)	5
見学	酒蔵見学, 寺社見学(各1), 移住地見学(1)	5
ゴルフ	ゴルフ(4)	4
サイクリング	サイクリング(4)	4
学習体験	トークイベント, 音楽アカデミー, 語学勉強(各1)	3
まち歩き	まち歩き, まち歩きツアー(各1)	2
カフェ	カフェ(2)	2
キャンプ	キャンプ(2)	2
自然体験	昆虫採集, 釣り(各1)	2
その他	観光施設, 修復ボランティア企画(各1)	2
合計(一件の記事の中で同一項目以外の項目は全てカウント)		99

表3 記事にみられたワーク関連項目と内容 [筆者作成]

ワーク関連項目	内容	記載数
オフィス, コワーキングスペース	白浜第2ITビジネスオフィス(5), いちのせき健康の森(2), ねまるポート(2), ハナレ軽井沢(2), naedoco(ナエドコ)(2), イートラボ, えちごトキめき鉄道妙高高原駅の共有オフィス, 旧政海旅館, 駒ヶ根テレワークオフィス, 逗子会館, 瀬戸内町福祉センター, 近くの空き事務所, 東海館 OZASHIKI WORK, 東桂苑, 東光園, 七瀬活性化拠点センター, 北陸ガールズスクエア, 前尾記念クロスワークセンターMIYAZU, みさきち, 八ヶ岳 commons, ロコノマド, OGAWA, OKUTAMA+, ON/OFFice ZUSHI, Semboku Workplex, TORICO, Workation Hub 紺屋町, WORK×ationSite 熱海, YY! GATEWAY(各1)	37
ホテル, 旅館	担当温泉マタギの湯, 宇奈月温泉旅館「やまのほ」, 尾瀬岩鞍リゾートホテル, 軽井沢プリンスホテルウエスト, 寿亭・水雲閣の桜の間, 隼石プリンスホテル, シェアスペース土井見世, シラハマキータラスホテルシーモア, 新安比温泉静流閣, ステイビューいかほ, びわこ緑水亭, フェニックス・シーガイア・リゾート, ホテル千畳敷, ホテルゆとりあ藤里, 若松屋村井六助, We Base 高松(各1)	19
ゲストハウス	いこいの森キャンプ場のキャビン, 改装した築150年の古民家, サンビレッジ徳良湖オートキャンプ場のキャビンハウス, 白浜荘, 焼石岳温泉ひめかゆコテージ, 宿屋までまで, ラドーレ神河(各1)	7
屋外	アドベンチャーワールド内サファリワールド, しろとり動物園, 星野リゾートリゾナーレ八ヶ岳のテレワークゴンドラ, 丸沼高原スキー場テント(各1)	4
その他	いすみ鉄道「ワッパン・ワーケーション列車」, 健康増進施設「バーデパーク」, Living Anywhere Commons 会津磐梯(各1)	3
合計(一件の記事の中で同一項目以外の項目は全てカウント)		70

セミナーハウス)はワーク利用が主目的となっているものの、3件と乏しい。

図1の宿泊機能を場所別にみると、余暇機能の実施場所と同様の傾向となり、山や市街地が多く見られた。これは、「ワーケーション」における余暇空間と宿泊空間との近接性が重視されていることと推察する。

4. まとめ; 本稿では、新聞記事を通じて「ワーケーション」事例における特徴として、「余暇機能」「ワーク機能」「宿泊機能」の3要件という観点から、利用されている施設や空間の特徴について明らかにした。

参考文献; 1) 豊田峻介ほか4名:「わが国におけるワーケーションの運用実態と実施方針に関する研究(その1)」, 日本大学理工学部学術講演会予稿集, pp.301~302, 2021 / 2) 三浦靖貴ほか4名:「わが国におけるワーケーションの運用実態と実施方針に関する研究(その2)」, 日本大学理工学部学術講演会予稿集, pp.303~304, 2021 / 3) 朝日新聞社:朝日新聞記事データベース「朝日新聞クロスサーチ」, https://search.asahi.com/ (最終閲覧日:2022.9.14) / 4) 読売新聞社:「ヨミダス歴史館」, https://database.yomiuri.co.jp/about/rekishikan/ (最終閲覧日:2022.9.14) / 5) 田中敦, 森田裕子:「ワーケーションの導入と拡大に向けた課題に関する一考察」, 日本観光研究学会全国大会学術論文集, Vol.34, pp.477~480, 2019 / 6) 田中敦, 石山恒貴:「日本型ワーケーションの効果と課題」, 日本国際観光学会論文集, Vol.27, pp.113~122, 2020 / 7) 辻本千春:「温泉地における「ワーケーション」についての報告」, 日本観光研究学会全国大会学術論文集, Vol.36, pp.83~87, 2021 / 8) 観光庁:「新たな旅のスタイル」ワーケーション&プレジャー」, https://www.mlit.go.jp/kankochou/workation-bleisure/ (最終閲覧日:2022.9.24)

表4 記事にみられた宿泊関連項目と内容 [筆者作成]

宿泊関連項目	内容	記載数
ホテル, 旅館	アパリゾート上越妙高, 宇奈月温泉旅館「やまのほ」, 担当温泉マタギの湯, 尾瀬岩鞍リゾートホテル, 軽井沢プリンスホテルウエスト, 寿亭・水雲閣の桜の間, シラハマキータラスホテルシーモア, 隼石プリンスホテル, 白馬樺の木ホテル, 新安比温泉静流閣, ステイビューいかほ, びわこ緑水亭, フェニックス・シーガイア・リゾート, ホテル千畳敷, 星野リゾートリゾナーレ八ヶ岳, ホテルゆとりあ藤里, 万座プリンスホテル, 若松屋村井六助, We Base 高松(各1)	19
ゲストハウス	温泉付きゲストハウス「ルルド」, OKUTAMA+ ドミトリー内, サンビレッジ徳良湖オートキャンプ場のキャビンハウス, 宿屋までまで, 焼石岳温泉ひめかゆのコテージ, ラドーレ神河のゲストハウス(各1)	6
研修施設, セミナーハウス	いちのせき健康の森, 白浜荘, ロコノマド(各1)	3
テント	丸沼高原スキー場内テント, 西湖キャンプ場グランピングテント(各1)	2
民家(空き家活用)	町内の民家の空き室4室を改装して民泊に利用(1)	1
その他	Living Anywhere Commons(3)	3
合計(一件の記事の中で同一項目以外の項目は全てカウント)		34

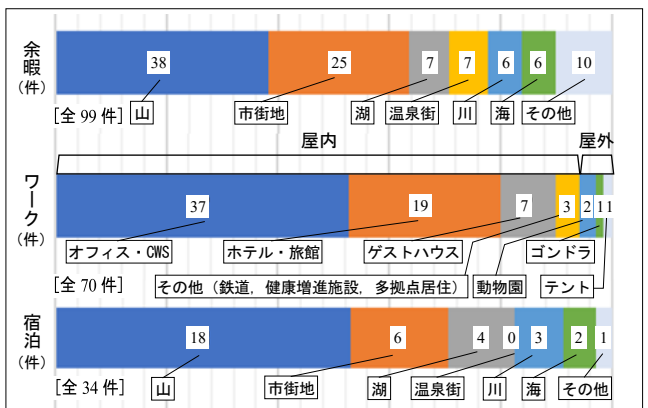


図1 要件別にみた対象場所の記載数 [筆者作成]